

交通信号工事士ら 技術競う「甲子園」

菰野町で、優勝は京都

【三重郡】全国交通信号

工事技術普及協会（丹下正彦理事長）は一日、交通信号工事士の技術を競う「交通信号工事甲子園（防災版）」を、菰野町榊のシン

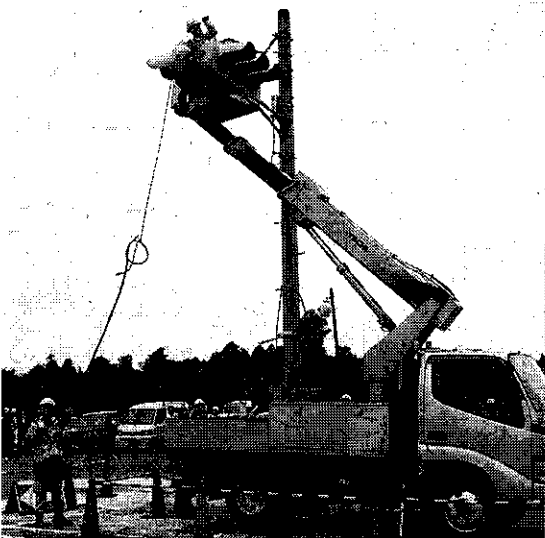
コーワ三重営業所で開いた。

今年で三回目で、技術の向上を図るとともに、新技術の修得、新人教育などを目的に開いている。県からは、四日市市の「アサヒ電設」が参加し、全国から計八社が集った。

競技は、四人一組で歩行者用の信号機の取り付けから通電までを一時間以内に完了させ、作業の正確性や安全性、迅速性などが審査された。結果、優勝が五島

電気建設（京都）、二位が光洋（東京）、三位がデューイテクニカル（京都）に決まった。

電気建設（京都）、二位が光洋（東京）、三位がデューイテクニカル（京都）に決まった。



競技に取り組む参加者＝菰野町榊のシンコーワ三重営業所で